

## 平成27年度 自己評価結果を踏まえた学校関係者評価報告書

柴田町立船岡小学校

1 評価期間 平成27年4月～平成28年2月

2 学校関係者評価委員

勅使瓦城基(委員長), 阿部光雄(副委員長), 佐藤力雄, 我妻智晃, 村上ゆき子

3 評価規準

- 妥当である。(適切な取組で、次年度へ向けての取組も妥当である)  
 ○妥当でない。(取組が不十分で、次年度へ向けての改善策も妥当でない。)  
 ○判断することができない。

※自己評価の数値の算出方法

教職員の自己評価で、A：大変良い・・・10点，B：良い・・・5点，C：課題がある・・・-5点，D：かなり課題がある・・・-10点とし、各項目の合計点数を教職員数で割った値。

上段：本年度自己評価数値  
 下段：( )内数値は昨年度比

4 評価項目

## 1. 地域に支えられ「地域と創る学校」づくりの推進

	自己評価	関係者評価
(1) 学校運営に対する地域住民・保護者等の参画と意見・要望の反映を図り、信頼される学校づくりに努めている。	6.1 (↑1.3)	妥当である
(2) 学校の教育内容や実践を、保護者や地域に積極的に公開し、開かれた学校づくりに努めている。	6.8 (↑2.4)	妥当である
(3) 保護者の支援や地域の教育力を生かし、学校の教育活動の一層の充実を図っている。	6.1 (↑1.1)	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて 数値としてどの項目も上がっているが、保護者や地域の方々の協力があって学校がスムーズに運営できていることを忘れずに船岡小学校らしい教育活動を今後も進めていく。また、これからも開かれた学校づくりに積極的に取り組んでいく。	学校関係者による主な意見 今年度の実践を来年度も継続して取り組んでほしい。	

## 2. 「学力向上」と学習指導要領の趣旨の徹底

	自己評価	関係者評価
(4) 「学力向上」を目指して、指導方法の工夫・改善を図るとともに、個性を生かした楽しく分かる授業の実践に努めている。	5.2 (↓0.4)	妥当である
(5) 学習意欲の向上と生活習慣・学習習慣を改善し、主体的な学習を促して基礎学力の向上に努めている。	5.7 (↑2.0)	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて 授業で学習用品の不備や逆に不要なものを持ってきていることが見られたので、学習に集中して取り組めるような生活習慣及び学習習慣の確立ができるよう支援していく。	学校関係者による主な意見 授業への取組方や態度の徹底など、大切なことであるので積極的に取り組んでほしいと思います。	

3. 豊かな人間性を育む道德教育の充実		自己評価	関係者評価
(6)	「道德の時間」の実施時数の確保と指導方法の工夫改善を行い、道德的実践力を高めるとともに、教育活動全体を通じた道德的実践意欲の向上に努めている。	3.9 (↓0.7)	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
道德の教科化を見据えて授業の計画や在り方について教員間で共通理解を進めていく。また、道德の授業の時間だけでなく道德的実践の場を計画、設定し道德的実践力の向上に努めたい。		今まで通り、計画的に進めてほしい。	

4. 生命の尊重と社会性の育成を図る生徒指導の充実		自己評価	関係者評価
(7)	「いのちと心を大切にすること」及び「良好な人間関係をつくること」が重要であるという共通認識のもと、いじめや不登校のない学校づくりに努めている。	3.4 (↓0.6)	妥当である
(8)	児童生徒の発達段階にふさわしい生徒指導を推進し、家庭と連携して基本的な生活習慣の育成に努めている。	5.0 (↑0.4)	妥当である
(9)	児童生徒に自己の特性を、理解させるとともに能力・適性や興味・関心等に基づいて将来の生き方を考えさせる志教育・キャリア教育の充実に努めている。	5.0 (↑1.0)	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
保健室や別室登校をしている不登校傾向児童がみられるので、少しでも改善できるよう全職員で共通理解と関わり方の工夫をしていきたいと考えている。 今年度も外部講師を招き、志教育やキャリア教育に結びついた教育実践を行ってきた。来年度も継続していく。		カウンセリングを受けたり専門機関への相談や検査など、正しく診ることが必要なのではないかと。その点についても検討して進めてほしい。	

5. 安全・安心な教育環境の整備・促進		自己評価	関係者評価
(10)	児童生徒の安全に対する意識を高めるための指導や「防犯教室」を実施して児童生徒の安全確保に努めている。	6.6 (↑0.2)	妥当である
(11)	地震災害等を想定した「避難訓練」「引き渡し訓練」「防災教室」を実施している。	8.8 (↑0.3)	妥当である
(12)	「子ども見守隊」「安全パトロール隊」など地域の支援を受けて、通学路の安全確保や地域の巡回などを行い、事故や事件の被害を未然に防止している。	8.2 (↑0.9)	妥当である
(13)	生涯体育・スポーツの視点に立ち、健康でたくましい児童生徒の育成に努めている。	5.7 (↑1.1)	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
初動訓練の取組により日頃から防災、安全への意識が高まってきている。身の守り方も身に付いてきているので今後も継続的に実施していく。また、もくもくタイムは体力向上の一助となっているので、年間を通して定期的な取組としていく。		地域との連携を行いこれまで通り児童の安全を確保してほしい。 体力向上に関しては、今後、仙台大学との連携が計画されているのであれば、しっかりと有効に活用してほしい。	

## 6. 特別支援教育の充実

		自己評価	関係者評価
(14)	特別支援の指導体制が整っており、特別な支援を必要とする児童生徒のニーズに応じた指導を行っている。	5.4 (↑3.3)	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
通級学級「ステップルーム」の新設により、これまで手が届かなかった児童の個別指導も充実してきた。		これまでと通り継続して取り組んでほしい。	

## 7. 国際理解教育の促進

		自己評価	関係者評価
(15)	自国文化に対する理解を深めるとともに、他国文化に学ぶ国際理解と国際化に対応した教育の推進に努めている。	4.5 (↓0.7)	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
ALT との外国語授業や海外在住の児童の体験入学などを通して国際理解教育を例年通り進めてきた。さらに今後は柴田町の「SAKURA プロジェクト」への取組にも積極的に取り組むことで児童の国際理解を進めていきたい。		海外在住の体験入学生などとの交流を大切にして今後も継続してほしい。	

## 8. 情報教育の推進及び学校図書館の充実

		自己評価	関係者評価
(16)	高度情報化社会に適切に対応していくことができるよう、各教科に応じた情報活用能力の育成を目指す情報教育の推進に努めている。	4.1 (↑0.3)	妥当である
(17)	学校図書館を整備し、児童生徒の読書活動の充実に努めている。	6.6 (↑0.3)	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
学校司書の配置で児童が安心して図書室を利用できる時間が保てている。読書に親しむ児童も多く非常にいい傾向であるが、保護者への児童の読書状況に対する広報など課題はある。		継続して取り組むとともに児童の読書への様子を保護者へもっとお知らせするとよい。	

## 9. 学校校地の自然環境の整備と自然体験学習の推進向上

		自己評価	関係者評価
(18)	校地内に花と緑の潤いのある教育環境をつくとともに、児童生徒の自然体験学習の充実に努め、自分たちの住んでいる地域の自然環境を守り大切にしようとする心の育成に努めている。	6.1 (↑0.7)	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
今年度は緑の時間等、花や緑に触れ合う活動を計画的に行ってきた。また、花壇の活用を積極的に行う学年も増えた。季節を逃すことなく今後も継続していきたい。		今後も継続的に取り組んでほしい。	

## 10. 教職員の資質及び指導力の充実・向上

		自己評価	関係者評価
(19)	教職員の自己研修を促し、指導力向上を図るとともに、学校課題の解決を図る校内研究・校内研修を積極的に推進している。	6.1 (↑0.3)	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
研究主任を中心に校内研究の充実に努めてきた。継続して研究、授業実践をし、児童の国語力を高めていく。また来年度はNIEの指定も受けて取り組んでいきたいと考えている。		授業の様子を見て、先生方の指導の工夫を感じている。	

## 11. その他

		自己評価	関係者評価
(20)	子供たちと一緒に話をしたり、教育相談をするなどのふれ合う機会を多くつくっている。	3.9 (↓1.3)	妥当である
(21)	子供たちは学校へ来るのを楽しみにしている。	5.0 (↓0.6)	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
朝できるだけ早く教室に行くなどふれ合う時間を確保する努力をしている。今後も工夫しながら時間を作りたい。学校へ来るのが楽しみになるような学習展開の工夫ややる気の出る声かけの継続を今後も続けていく。		日頃からの声かけが子ども達の意欲につながると思います。	

## 12. 教育目標について

		自己評価	関係者評価
(22)	教育目標「豊かな心をもち自ら考えるたくましい児童の育成」が、学校の教育活動において具現化されている。	5.5 (↑0.3)	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
今後も児童の学力向上を目指しながらも、身体の健康と心の育成を大切に船岡小学校ならではの教育活動を保護者、地域の方々と連携しながら実践していく。そのために、教職員が積極的に保護者や地域とかかわる機会を設けるなど、開かれた学校としての工夫を計画・実施していきたい。		保護者の協力をもらいながら進めていく必要がある。継続してがんばってほしい。	

### ◆その他:学校関係者による主な意見

・児童たちのあいさつが以前以上に良くなってきていると感じている。見守り隊の方々をはじめとする地域の方々とあいさつしたり、学校で友達同士や先生にあいさつしたりする活動で身に付いてきているのでこれからも継続していければと思います。